

# ひろば いきいき広場

平成29年1月13日  
No.35  
枚方市子ども青少年課  
電話 072-841-1375  
(ダイヤルイン)  
FAX 072-843-2244  
アドレス:  
kodosei@city.hirakata.osaka.jp

## 東香里校区 子どもいきいき広場

我が校区の活動はクラブ形式をとっています。体育系が四クラブ、文化系は六クラブあります。今回は私の担当でもあるアート&クラフトについて紹介します。

二年生以上の児童が二十余名、季節に合わせた工作等を毎月一回行います。今年度の活動内容を紹介します。四月の体験期間にはいろいろなひもの結び方を学び、花の形をひも結びで作りました。

新年あけまして  
おめでとうございます

平成29年が始まりました。  
今年の干支は「酉（とり）」  
大空に向かって  
大きく羽ばたく年に  
したいですね。



今年もよろしく  
お願いいたします。

ペットボトルやストローを使った楽器を作りました。九月は折り紙です。立体を組む学習で地域の作品展にも出品しました。十月は市販のくるみボタンセツ



くレタリングの相談。八月は七月は夏休みの工作



五月は本皮のレザー、クラフト、トリック編みでブレースレットを作りました。六月は美しい文字を描

トを利用して布で土台をくるみ、ペンやスパンコール等で加飾してオリジナルのバッジに仕上げました。十一月は「ゼンタングル」という連続模様を描くアートに初挑戦しました。毎月の準備や新しい課題の研究は大変ですが、学校の先生方、卒業生、保護者や地域の方々の熱心な協力もあり、子ども達の思いもよらないアイデアに感心しながら、楽しんで活動しています。



# 枚方校区

## 子どもいきいき広場

枚方校区子どもいきいき広場「枚小げんキッズ」と名付け元気に賑やかに子ども達が集い、月一〜二回開催しています。

四月は、ピンポン。卓球で活躍されてる方に教えて頂き、地域の方も参加し楽し



しく開催。五月は地域のバスケチームの皆さん（小学生・コーチ）の方が指導。また、和太鼓体験。六月は色んなシャボン玉作りを。七月は磁石で車を動かして、電気の力を学ぶ理科工作教室。水風船でびしょびしょになっても大喜び。



八月は日頃の感謝を込めて、先生、保護者、児童と皆で学校ぴかぴか大作戦。

九月は枚方秋祭りの蒲団太鼓を体験。また、地域のおじいちゃんや将棋で勝負。

十月は赤白対抗のミニ運動会。十一月はアメリカの大学卒業のお姉さんに、楽しく英語を学ぶ。十二月は恒例のクリスマス会。



一月は駒返し、凧揚げなどの昔遊び。二月はデイスコン。三月は子ども達で作るカレーパーティー開催予定。地域の皆さんの協力のもと開催。今後とも笑顔溢れる「枚小げんキッズ」にご協力宜しくお願い致します。

ノロウイルス感染症について（再掲）  
新聞等でご存知のように、今年もノロウイルスによる感染症が早い時期から多く出ています。新型のウイルスの発生が原因であるといわれています。



機関紙「いきいき広場」でも何回も掲載してきましたが、再度注意喚起のために掲載します。  
ノロウイルスは手指や食品などを介して人に感染し、嘔吐、下痢、腹痛などを起こします。子どもやお年寄りの場合、重症化することがあります。基本を守って食中毒予防を徹底しましょう。

### （感染力）

非常に強く、乾燥した状態の中でも数日から数週間生きています。嘔吐物を直接触る以外にも、様々な形で感染する場合があります。何かを触った手を直接口に持っていないことが大切です。感染者の「便」には約一億個、一グラムの中の「嘔吐物」の中には約百万個のウイルスが含まれています。実際、十〜百個のウイルスでも感染することもあります。私は大丈夫という気持ち捨ててください。とても感染力が強いウイルスです。

### （予防）

ノロウイルスはアルコールで殺菌できにくいウイルスです。アルコール性の手指衛生剤よりも、流水によって石鹸でよく洗ってください。特に料理前やトイレ後等には必ず手洗いを十分行ってください。当たり前のことですが、食の安全は手洗いから始まる事を再度考えてください。命を守るために大切です。

### （感染した場合）

感染した場合、「下痢」や「嘔吐」を何回も繰り返すことがあります。この場合、一番気をつけなければならないのは、「脱水症状」です。屈強な若者でも、げっそりとやせこける場合もあります。初期の段階では水分補給は少量ずつ、それでも頻繁に行うことが重要です。まったく水分を取ることができない場合は必ず医師に相談してください。これも命を守るために大切です。



子ども青少年課

# 招提校区 子どもいきいき広場

招提校区子どもいきいき広場「たけपीーひろば」の活動企画ですが、各回ごとに担当が決まっています。今回は昨年五月二十八日PTA主催のものと十一月二十六日おやじの会主催の活動を紹介します。

五月二十八日、事前にポ

スター等を掲示し宣伝した結果、二十五名の児童が集まりました。まずはクイズ大会で、様々なクイズに挑戦。非常に盛り上がり、問題数が足りない状態でした。その後、体育館



前に集合させ「やりたい事」を聞くと「バスケット」「鬼ごっこ」「ドッジ」「バドミントン」と様々な声がありました。「よし！ぜんぶやってみよう」ということになり、すべてにチャレンジ。まずは「氷鬼ごっこ」。保護者が鬼役となり、逃げる子ども達を捕



まえました。捕まって固まっている子どもを助ける友達、歓声と必死で走り回る足音が大きく体育館に響きました。とても運動量が多く、久しぶりに思い切って走った大人たちでした。その後みんなが大好きな「ドッジボール」。これもとても盛り上がりました。さらにその後「バドミントン」と「バスケット」は好きな子ども達が集まって楽しんでいました。

十一月二十六日おやじの会主催の活動は、みんな大好きドッジボールでした。親子ドッジボールで、家族対家族のトーナメント制。子どもだけの参加もチームに混じり、全員が大はしゃぎでプレーしました。最後は、大人対子どもの試合も行い、目一杯盛り上がりました。そして、全員が参加賞をもらって、笑顔で帰宅しました。

一回の企画を考えるのに、時間も頭も使います。企画をする側に回ってその苦労が分かりました。もともと多くの子どもの積極的な参加、保護者の協力を願っています。



## アドバイザーの贈り物

二〇一七年を迎え新たな気持ちで新年を迎えられた方もおられたのではないのでしょうか。

昨年はいきいき広場の事業にご理解とご協力を賜り誠に有り難うございました。本年も児童の心身の健全育成を目指した取組にご支援を賜りますようお願い致します。

さて、学校訪問し代表やコーディネーター・スタッフの方と話をしていますと、いきいき広場の前にあったふれ愛フリースクエア時代の話まで戻ることが度々あります。

当時、PTAや地域諸団体役員の方々でどんなプログラムをしたらいいのか、子ども達をどういう体制で受け入れていけばいいのか、地域の各種団体の方々にお世話にならないといけないこと等多くのことを検討し、子ども達が生き生きとし、地域の人達と交流を深めながら逞しく健全に成長していくことを願ったことなどを話します。今日この学校にラムが継続実施されていることは素晴らしいことだとしばしば語り合っています。

また、スタッフの皆さんの中には子どもの頃ふれ愛フリースクエア・いきいき広場の経験のある人達がスタッフとして協力下さる方が増えてきています。現在いきいき広場の活動はそのような環境の中で実施されています。

保護者の皆様も配布されるプログラムを参照下さり機会があれば是非お子さんの様子や活動の状況など観て下さり、時にはお子さんと一緒に活動をして下さればと存じます。保護者の皆さんが参加すること、いきいき広場の取り組みが一層充実したものであると確信致します。

アドバイザー 児嶋

# 蹉跎東校区

## 子どもいきいき広場

「いきいき蹉跎東」では、昨年度から「職業体験」というプログラムを定期的に実施しています。

昨年度六月に実施した第一回目は「土地家屋調査士」の方をお呼びしての「測身体験」。

第二回目は「女性



消防団」をお呼びして、AEDの使い方やグラウンドで水消火器を使つての消火などを体験しました。この職業体験のプログラムは保護者の方にも大変好評で親子参加が多いプログラムとなっています。



第三回目となる今年度は「街頭紙芝居」の方をお呼びして地域の公園など数箇所を回っていただき懐かしい紙芝居を体験しました。

第四回目は、「落語」を実施。

プロの落語家さん(桂 優々さん)をお呼びして、落語を聞いた後、小道具の扇子の使い方や小話なども教えていただきました。



初めて落語を聴く子ども達でしたが、羽織を貸してもらって正座をし、扇子を使つてうどんをすすする真似をしてみたり、自分で考えた小話を披露したりと大変盛り上がりました。



これからもいきいき蹉跎東では、この職業体験をはじめとして子ども達にいろいろなことを体験してもらえようプログラムを考えていきたいと思っておりますのでご協力のほどよろしくお願ひします。

### 編集後記

今年度の子どもいきいき広場の活動も、残り三ヶ月を切りました。各校区で様々な取り組みが行われ、子ども達の参加も多くなって来ました。特に十二月・一月についてはクリスマス会や餅つき大会、正月遊び等も行われ、とても多くの児童が参加しています。

土曜日ごとに各地区を訪問し、活動を見学していますが、どの地域でも子ども達の笑顔の素晴らしさが印象に残っています。様々な活動を通して、子ども達が充実感や達成感を味わっている様子が伺えます。小学生の時期に様々な体験をすることにより、考え方の幅が広がると思われれます。子ども達は「夢」を持っていきます。そしてその「夢」をかなえたいという「希望」があります。運営されている方々の献身的な対応で、様々な体験のあとの「感動」を味わっています。子ども達は「地域で育つ」・「地域が育てる」ことが現実として枚方にはあります。

保護者の皆様、ぜひ、いきいき広場の活動を見に来てください。子ども達の笑顔をぜひ見てください。

アドバイザー 三木

